

令和2年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	8
---------	-----	---

事業名	図書館経費			会計	款	項	目
				一般	10	5	4
施策	3	心豊かなまち		課名	社会教育課		
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる		係名	生涯学習係		
	3-1-3	生涯学習の推進					
主要施策	②図書館の充実						

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（図書館利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	図書館を中心として町民が様々な学習のできる場を提供する。
事業内容	必要な資料（図書、雑誌、AV資料等）の収集、整理、保存を行うことを基軸として、閲覧サービス、貸出・予約サービス、リクエストサービス、他館との資料相互貸借を行うほか、レファレンスサービス（調べ物のお手伝い）、複写サービス等を行う。不用図書等については年1回「リサイクル会」を開催し有効活用を図っている。 また、子ども読書活動を推進するため毎月2回（第2・第4土曜日）ボランティア団体による「読み聞かせ会」を開催している。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1	町民の利用登録率	86.0	86.5	87.5	%	↑
2	町民1人あたりの貸出冊数	7.0	6.9	6.0	冊	↑	7.0
3	蔵書回転率	1.7	1.7	1.4	回	→	1.7
4							
5							
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）
全体事業費（千円）A+B			29,373		29,342		30,445
財源内訳	直接事業費A		10,227		10,196		11,299
	うち一般財源		10,152		10,140		11,243
人件費（千円）B			19,146		19,146		19,146
内訳	一般職員（人・千円）		1.81	11946	1.81	11,946	1.81 11,946
	臨時職員（人・千円）		4.00	7200	4.00	7,200	4.00 7,200

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	図書、雑誌等の見直しや貸出冊数の増加を図るとともに、既存利用登録者を維持しつつ、新規利用者の増加を図るなど、魅力ある図書館の充実に努めます。	③取組の課題	町民1人あたりの貸出冊数の減少傾向の要因の一つとして、16歳から21歳までの年齢層の利用が減少した。より一層のPR活動や図書サービスの充実が必要と考える。
②R2年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動を振興するため、学校教育課の「読書登山」との連携を図った。 ボランティア団体による「読み聞かせ会」は、令和3年1月から再開した。 	④今後の改善計画	16歳から21歳までの年齢層を重点に置き、読書習慣や自ら学ぼうとする意欲向上を図るとともに、幅広い年齢層が利用し易い環境整備を行う。